

利根町 平成23年度事務事業評価シート

～ 平成22年度 実績分評価 ～

● 基本情報

事務事業名		コミュニティセンター管理事業				評価番号	6-1	
担当課	係	生涯学習課	社会教育係	予算科目	会計	【01】一般会計		
振興計画	章	【6】町民によるあかるいまちづくり			款	【0109】教育費		
	項	【1】コミュニティの形成			項	【010904】社会教育費		
	施策	【2】コミュニティ施設の充実			目	【01090410】コミュニティセンター費		
	小柱				事業	コミュニティセンター事業		

● 計画 ～ PLAN ～

根拠法令等	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	根拠法令等 (利根町コミュニティセンター条例)					
事業期間	<input type="radio"/> 新規事業 <input checked="" type="radio"/> 継続事業	継続年数	<input type="radio"/> 単年度	<input type="radio"/> 5年以下	<input type="radio"/> 6～10年	<input checked="" type="radio"/> 11年以上	
事業の対象	<input checked="" type="radio"/> 全町民 <input type="radio"/> 一部町民	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体			
実施形態	<input checked="" type="radio"/> 町単独事業 <input type="radio"/> 国・県補助事業 <input type="radio"/> その他						
事業の概要	目的:	地域の生涯学習活動、コミュニティの拠点として親しみやすい施設として管理運営を図る。					
	内容:	公民館と同等の社会教育の拠点としての社会教育団体、社会体育団体等活動の場を提供し、有効利用を図る。					

○ 事務事業にかかる事業費

区分	予算項目(主な支出科目5項目まで)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(計画)
主な事業費内訳	7 賃金	千円	1,868	1,747	1,944
	11 需用費	千円	2,099	1,844	2,195
	12 役務費	千円	170	124	162
	13 委託料	千円	2,417	2,756	2,448
	14 使用料及び賃借料	千円	477	476	600
	合計			7,031	6,947
財源内訳	国支出金 ()	千円			
	県支出金 ()	千円			
	受益者負担金 ()	千円	1,330	1,140	1,200
	その他 ()	千円	1	0	1
	一般財源	千円	5,700	5,807	6,148
合計			7,031	6,947	7,349

● 実施 ～ DO ～

目標値設定	活動指標	指標名	利用者数				
		設定理由	利用者数により住民がコミュニティセンターを利用して活動したかが図られる指数となる。 平成22年度実績13,156人 平成23年度は前年度実績の0.5割増しを目標 $13,156人 \times 1.05 = 13,813.8人$				
		指標の推移	21年度(目標値)	21年度(実績値)	22年度(目標値)	22年度(実績値)	23年度(計画値)
			16,700人	14,764人	15,500人	13,156人	13,800人
	成果指標	指標名					
		設定理由					
指標の推移		21年度(目標値)	21年度(実績値)	22年度(目標値)	22年度(実績値)	23年度(計画値)	

● 評価 ～ CHECK ～

事業執行状況の評価	①事業の必要性(該当する項目にチェック)		
	A	<input type="radio"/> 法令等に基づき実施が義務付けられている	
		<input checked="" type="radio"/> 施政方針や基本計画に掲げられた事業である	
		<input type="radio"/> 課等の庶務や経理のみの事業である	
	B	<input type="radio"/> 事業の目的をほぼ達成している	
		<input type="radio"/> 社会情勢の変化などから、事業の必要性が低くなっている	
	C	<input type="radio"/> 事業の目標を達成したので事業の必要性がなくなっている	
		<input type="radio"/> 国・県の制度改正により事業の必要性がなくなっている	
	理由:	基本計画に挙げられた、健康づくりや趣味の活動を広くPRし利用者を積極的に増やしていく。	
	②事業の有効性(該当する項目にチェック)		
A	<input checked="" type="radio"/> 期待した通りの成果がある		
	<input type="radio"/> 現在成果は少ないが今後向上の見込みがある		
B	<input type="radio"/> 期待したほどの成果がみられない		
C	<input type="radio"/> 成果が少なく今後向上の見込みもない		
理由:	年度によって多少利用者数に変動はあるが、住民の活動意欲が高まり利用者数が増えている。		
総合評価	事業執行状況の評価結果		
	①事業の必要性: A	総合評価 A	総合評価 判定基準 ①②両方がA⇒A Bが1つでもある⇒B Cが1つでもある⇒C
	②事業の有効性: A		
	コメント:	利用者数等をみると住民の活動意欲が向上しており、今後も生涯学習活動の場として提供し展開していく。	

● 改善 ～ ACTION ～

今後の方針	今後の方針とその理由(該当する項目にチェック)	
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり(継続) <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	
	理由:	今後も生涯学習の場としての役目を果たしつつ、利用者のニーズに答えていく。